

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



「卒業修業のつどい」

3月19日、雪の残る午後
に年度区切りのつどいを開催

恒例の手作り型の会場で、

- ・第1部:証書/一人ずつ違った内容、生徒の一言+スタッフ保護者・NPO 役員の発言
- ・第2部:作品発表他

INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマンラスト/方針
- p3: ↓年次会費納入他
- p4-5: 卒業修業のつどい
- p6-7: つどい/作品・初等部
- p8: エッセー、カレンダー、後記
[チラシ、案内他]

「謙虚な自信」について

株式会社和光・会長 田中 傳右衛門

弊社の信条の中に、「謙虚な自信；己の可能性を信じます」と言うのがあります。

「謙虚」と「自信」と言う言葉の意味は何かしら相反するような感じがしますが、とても関連の深い言葉です。

エッセイ集「司馬遼太郎が考えた事」13巻289ページに、「謙虚というのはいい。内に自己を知り、自己の中のなにがしかの良さに、よりどころを持ちつつ、他者の良さや立場を大きく認めるといふ精神の一表現である」とあります。

一方、自信は一心不乱にたゆまぬ努力をし、行動した結果、得られるものでもあります。未熟なのに「自信過剰」でやたら「自信のある人」も困ってしまいますが、謙虚で自省心が強い人、自分を肯定的に認める事が苦手な人で中々自信を持ってないのも問題です。

多くのオリンピックのアスリートたちは、「自分を信じて楽しむ気持ちでプレーに臨みます」と言っています。一所懸命努力した後は《謙虚な自信》の精神で「私は大丈夫！」と自分を信じる力が自信を持たせます。

言い換えれば己の可能性を信じ、**自分は出来る！**と思ひ込み挑戦することです。そして謙虚でいっつも自信を持つこと、自信を持ちながらも謙虚であり続けること、この二つのバランスを取りながら前に進むことが大切だと感じています。

[注:筆者は本認定NPO 法人・副代表理事で、15年前より(学)共育の森学園理事も務めています]